

私の新しいキャリア

ヘイリー・コックス

私はあいさつと少しの日本語だけを知って日本に来ました。日本に来てからの7か月間、私は熱心に何時間も勉強をしました。今ではある程度のことばは理解できますが、話すことにはまだ苦労しています。ちょっとした簡単な会話に加わることはできるようになりました。そして、特定の話題については、少しですが完璧な文で話せます。とても強い意志と、クリエイティブな言葉を生み出すことで「会話に近い会話」を持つこともできます。

ほとんどの先生が英語を使って話しかけてくれたり、教室の外で私がよく話す先生たちも日本語で話しかけてくれたりします。私は話している間、インターネットで意味を調べるために時間を取ったり、うなずいたり、分かっているふりをしたりしてしまっていますが、お互いに理解しようと頑張っていることに感動しています。たとえそれが、私にとって難しすぎる翻訳を持ってきていたとしても。

数週間前、休み時間中にアシスタントの先生が私を呼びました。私はそこに座り、私たちの普段の、辞書の補助付きの会話をしようと思いました。

しかし、よく使っている辞書アプリを使うのではなく、彼女はボイスメールを取り出し、5歳になるお孫さんの2つの録音音声に私に聞かせてくれました。彼女のお孫さんはアメリカに住んでいて、英語でメッセージを残していました。1つめのメッセージを彼女が再生し、わたしはすぐにそれが夢について説明しているものだと気づきました。よかった。これは簡単に訳せるだろう。

話をまとめると、モンスターがいて、でも、怖いモンスターではない。(彼の母親が彼に質問し、それに対して彼は自信をもって怖くなかったと言いました。)

空が「キラキラして」、大きなモンスターがダンスして、それは「おもしろかった」

2つ目の夢は大きな太陽と、空に手が届くほど背が高くなった大きな両親についてでした。

この夢はさほどおもしろくなく、でも、それは彼の夢についての話であることは明らかでした。本の中の話のようで、実際は本の話ではない。彼の夢だ。OK。わかった。

子どもの話と録音再生の音質のため、話している内容の3割ほどしか理解できませんでした。

これはまた間違いなく興味を持っているようなふりをし、まとまりのない子どもの話にうなずくだけのシナリオの一つになりかねない。でも、私の横には先生が。私の方を期待しながら見ている。

大きくため息。さあどこから始めよう。

まずは「彼は夢について話している」ところから始めよう。もし私がドリームの日本語の単語を知っていれば.....ネット検索をし、「ドリーム」は昨日、私の小学1年生の生徒が質問してきたときに、聞き逃していたキーワードということに気づきました。それはさておき、先生の方を向きなおりました。

ドリームという言葉日本語の夢という言葉にして、先生は(日本語で)聞きました。夢は、寝ているときの夢か将来の夢という意味の夢なのか。えっと、寝ている間の夢。

スリープは日本語でなんだっけ。これは基本だ。日本に来た最初の数週間のために習ったはず。どうしてわたしの単語はいつもこんな時に限って出てこなくなるの? ああ、思い出した。わたしはしっかり理解してもらうためにジェスチャーを少し付け足しました。失敗した。もう一回。よかった。おそらく理解してもらえただろう。確信は持てないけれども。

オッケー、次はモンスターがいた。これは簡単だ。娘さんがお孫さんに日本語で怖かったかどうか尋ねたのを先生は聞いていたから。でも、彼は面白かったと言った。ああ、彼が言ったのはそれだ。そう。本当に。あ、私はモンスターが踊っていたこと言ったっけ? モンスター。モンスターは踊っていた。モンスター。ダンス。はおもしろかった。(きちんと文になっていない。はあ。ため息をつく。)そして空はキラキラしていた。“スパークル”って日本語でなんだろう。えっと、スパークル、スパークル。またネットで検索。

そう。空はキラキラしていた。どうして? それは教えられない。彼の夢の話でしょ? 待って、それは訳せない...とりあえず愛想笑い。

では2つ目の夢のボイスメールに移ろう。いや、この2つに関連性があるかどうかわからない。このボイスメールが別々だったから、ないと思うけど.....ごめんなさい。英語ばかり。

両親(イエス、これは知ってる!) grew (しまったこれも調べないと)は空に手が届きそうなほど背が高くなった。これは面白いよね。彼がこれを怖いと思ったことを除いては。そう。彼はこれを嫌いだった。いや、少なくとも私が言えるのは、今回はモンスターはいなかった。さらに太陽がとても大きかった。これがどう関係してるかわからないけど、いい話には設定が必要でしょう? うわー、また英語だらけ。

これ1つじゃなくて2つの夢ってことであってるのかな? 絶対1つじゃないよね。でも、複雑.....だから2つの夢。絶対そう。しまった。先生は彼が本について言ったことは理解してるんだ。いや、これは本の話じゃなくて夢の話。でも、本のお話みたいな夢。わからない? えっと、私の愛想笑いに気付いて?

20分近いこの会話の最後のころには、お孫さんの夢のほとんどの部分を伝えられたと思います。そして、途中でごちゃごちゃとしたわりには、どちらかというとても楽しかったです。

お互いに過去の話話すことは時々頭が痛くなることもありますが、それ自体には過去の思い出やおもしろかった話を思い出すことに役立っています。

訳: 上野鮎美 (Ayumi Ueno)

